

(9) 肉用牛生産の拡大

農畜産課畜産室

1. 目指す姿と取組のポイント

【和牛子牛生産頭数 9,300頭以上、産出額 25億円以上増加】

子牛市場価格の変動にも耐えられる特色ある子牛の生産を進め、安定した経営を目指す将来の担い手を継続的に確保

- ① リース牛舎や放牧を活用した新規就農者の確保
- ② 市場価格をリードする種雄牛の造成
- ③ 繁殖雌牛の能力向上
- ④ 子牛や肥育牛の生産性向上

【KPI目標】和牛子牛生産頭数

R1: 7,522頭 ⇒

R4: 実績8,390頭(見込)/目標8,500頭

2. 取組の進め方と令和5年度予算事業

(1) 新たな担い手確保

【目標】毎年5名以上の新たな担い手を確保

R4	取組	<ul style="list-style-type: none">○ 資材や飼料の高騰から積極的に推進できない状況○ 第12回全国和牛能力共進会（鹿児島全共）出品対策を通じて農林大生、農林高校生、若手後継者等の交流を誘導
	成果	<ul style="list-style-type: none">○ 新規就農者2名、就農希望者9名を確保



R5	取組方向	<ul style="list-style-type: none">○ 30頭規模以上を目指す専門新規就農者を育成○ 市町、JAと連携してリース（アパート）牛舎を整備
	支援事業	<ul style="list-style-type: none">➤ 牛舎等の整備を支援<ul style="list-style-type: none">○ <u>ハウス等整備事業</u>（中核的な経営体を目指す自営就農確保対策事業の内数）<ul style="list-style-type: none">・ リース牛舎等の整備（補助率 国1/2+県1/4） 187,554千円（128,922千円）○ <u>畜産クラスター事業<国></u>（補助率1/2） 200,000千円（1,000,000千円）

(2) 種雄牛の造成・繁殖牛の能力の向上

(3) 子牛や肥育牛の生産性の向上

【目標】子牛市場価格と肥育出荷成績で全国平均以上を達成

R4	取組	<ul style="list-style-type: none">○ 鹿児島全共の出品対策を重点実施<ul style="list-style-type: none">・ 子牛育成、肥育管理、育種改良研修会、現地指導会を集中開催○ 第13回全共（北海道全共）候補となる高能力種雄牛「寿久」「正之助」を造成
----	----	--

R4	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島全共「肉牛の部」6区(総合評価)で1位、7区(脂肪の質評価)で2位、8区(肥育技術評価)で2位 ○ 「種牛(雌牛)の部」特別区(農業高校)で4位 ※ 弟牛が和牛甲子園(R5.1)で4位 ○ 市場価格や枝肉成績の全国平均に対する比率が改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子牛市場価格 R1:98% ⇒ R4:99.9% ・ 枝肉上物率R1:95% ⇒ R4:98.0% ・ 枝肉重量 R1:97% ⇒ R4:99.5%
----	----	---



R5	取組方向	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島全共の好成績を活かし「しまね和牛」の認知度向上の取組を実施 ○ 北海道全共に向けた候補牛づくりを強化(高能力雌牛活用による改良を推進) ○ 畜産技術センターの種雄牛造成体制を強化
	支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 繁殖雌牛の増頭・更新を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>しまね和牛生産振興事業(繁殖雌牛更新対策)</u> 37,500千円 (37,500千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 更新10万円/頭、増頭15万円/頭⇒計300頭 ○ <u>肉用牛経営安定対策補完事業<国></u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入8万円または10万円/頭、簡易牛舎上限25千円/m² ➤ 繁殖雌牛の改良、種雄牛の造成を強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>種雄牛造成強化事業</u> 44,473千円 (46,485千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲノミック評価による超高能力雌牛の選抜⇒860頭 ・ 超優秀雌牛の導入支援(補助率1/2、上限180万円/頭) ○ <u>しまね和牛生産振興事業(評価向上対策)</u> 【新規】20,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道全共出品対策等で活用する改良技術を開発 ○ <u>畜技センター種雄牛造成強化施設(移転)整備事業</u> 835,600千円 (41,000千円) ➤ しまね和牛の認知度向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>しまね和牛生産振興事業(認知度向上・販路拡大対策)</u> 【新規】25,000千円 (うち10,000千円は11補)

(4) 放牧の拡大

【目標】放牧を利用している繁殖牛を3,800頭以上に増加

R4	取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共放牧場の整備(隠岐、奥出雲町:24ha) ○ 隠岐、三瓶で効率的な牧野整備を検討(リモコン雑灌木伐採機の演習等)
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放牧利用頭数は横ばい R1:3,300頭⇒R4:3,330頭(見込み) ○ 知夫・西ノ島・三瓶で放牧牛管理GPSシステムを一部導入



R5	取組方向	○ 隠岐、大田、奥出雲等で放牧利用を拡大(自給飼料利用拡大の取組)
	支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 放牧場の整備を支援 <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>放牧再生支援事業</u> 11,308千円 (10,280千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑灌木の除去、牧草の再播種、牧柵の修繕等(補助率1/2、上限330万円) ○ <u>畜産公共事業<国、県、町村></u> 252,074千円 (224,209千円)